

5/18

「スポーツ×食」で青少年の健全育成

NPO 法人ホークスジュニアアカデミー野球教室

同イベントが「青のまち松浦スタジアム」で開催されました。学童野球チーム「松浦少年野球クラブ」と「福島ブルーアイランズ」から約40人が参加し、福岡ソフトバンクホークスの元選手からフォームなどの指導を受けました。参加した子どもたちは「教えてもらったことを練習して、しっかりと頑張っていきたい」などと話しました。

教室の後には、(株)三陽の提供により「みずほPayPayドーム福岡」の新名物グルメとなっている「鷹のアジフライ」360食が振る舞われました。



5/21

グラウンド・ゴルフで健康増進

第19回松浦市いきいきクラブ連合会 グラウンド・ゴルフ大会



同大会(松浦市いきいきクラブ連合会主催、九州地方郵便局長協会共催)が福島総合運動公園で開催されました。

この大会は、グラウンド・ゴルフを通じて会員相互の親睦と心身の健康増進を図ることを目的に毎年開催されています。当日は約150人が参加し、熱戦を繰り広げました。

上位結果は、以下のとおりです。(敬称略)

【男子】①今村 修一②山口 光信③志水 許信

【女子】①清水 俱子②大久保 悦子③山口 道子

※松浦市いきいきクラブ連合会(旧 松浦市老人クラブ連合会)

5/26

スポーツで交流深める

第24回長崎県障害者スポーツ大会

長崎県立総合運動公園トランスコスモスタジアム長崎を主会場として、同大会が開催されました。

本市からは、短距離走や投てき競技(ソフトボール投げ、ジャベリックスロー)などの陸上競技に18人、卓球競技に1人、フライングディスク競技に1人、ユニカール競技に10人の選手が参加し、それぞれの競技において健闘され、大会を通じて選手同士で交流を深めました。



5/28 「甘くておいしい」笑顔あふれる

イチゴ畑無償開放 須藤邦寿園（志佐・西山）



同園の須藤正文さんは、市内の子どもたちに喜んでもらいたいと出荷シーズンが終わりを迎えるこの時期に合わせ、イチゴ畑の無償開放を企画。松浦幼稚園の3～6歳児約70人がイチゴの摘み取りを体験しました。

2つのグループに分かれて、それぞれ30分ずつ畑内を散策。「甘くてとても美味しい、何個でも食べられるね」と嬉しそうに春の味覚を味わいました。

6/3 子どもたちの将来のために

松浦ライオンズクラブ寄附金贈呈式



このほか、能登半島災害支援のため義援金を贈られました。

同クラブは、市教育委員会、市青少年健全育成連絡協議会に寄附金を贈呈しました。

来年で60周年を迎える予定でしたが会員数の減少等の理由により、継続を断念され、本年6月をもって解散。

福田邦光会長は、「59年間の在籍された人の思いの詰まった浄財を子どもたちの将来のために有効活用していただきたい」と話しました。同クラブが主催していた「小中学生弁論大会」は、青少年健全育成連絡協議会に引き継がれます。

6/6 おいしい新茶ができました

JAながさき西海茶業部会松浦地区部会（井手眞悟部会長）



市役所で新茶の贈呈、試飲が行われました。市内では14戸6工場でお茶が生産されており、嬉野茶として出荷されるほか、工場それぞれでオリジナルのお茶を製造し販売しています。今年の新茶は、十分な気温上昇と降水量により順調に育ち、良好な品質となっています。当日は、水出しと急須で新茶が振舞われ、旨味と渋味のバランスがとれた深みのあるまろやかな味わいが口いっぱいに広がりました。